

今週の作業シート

清水

1

O:¥三田三・四地区¥11-18住友不動産調査書¥18立竹木調査表.xlsxに現場調査書を参考に
して立竹木の続きの入力を行う。

- 1 数量欄に記載のないものは、全て数量1と考えてくださいませ。
- 2 樹種が「ソヨゴ」と記載されたものは、「もちのき」にて入力してください。
- 3 株記載のものは、株廻りも調べてありますが、入力は樹高・葉張の記載のみで良い。
- 4 単位に記載のないものは、分類を高木で入力する。
- 5 今回の調査領域は全て「風致木」とする。但し樹種により風致木のないもののみ、高木・株物で入力してください。
- 6 O:¥三田三・四地区¥書式_H29単価等¥H29単価¥04 ★平成29年度損失補償算定標準書 立竹木・立毛編（パスワード付）-加工.xdwの検索機能で樹種入ると掲載頁の記載があるので、エクセルの標準書ページに入力してください。
- 7 つつじは、「おおむらさきつつじ」としてください。現場調査書で「シヨロ」と読めるのは、全て「しゅろ」です。
- 8 現場調査書では、カタカナにて記載がありますが、前回同様にひらがなで入力してくださいませ。また、樹種名は、上記の平成29年度損失補償算定標準書 立竹木・立毛編と合わせてくださいませ。
- 9 掲載頁を参照にして、検索機能でページ検索して権利変換シートの水色列に樹価を入力してください。樹価は、株物の場合には樹高にて変わり、玉物は葉張で変わる。高木は、幹周10cm以上か未満かかつ樹高で決まる

2

O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥工作物¥18住友不動産 - 立竹木位置.jwwの今回追加分を作図する。表を貼り付けるエリアも考慮しておいてください。

- 1 現在右エリアと左エリアの縮尺が1/200と1/300で違うのが気になります。基本的に同じ用途の図面で縮尺を変えるのは好ましくありません。できたら共に1/200のスケールに変更したいです。
- 2 上記グループを変えての作図となりますので、JWCADよくわかってないと上手くいきません。JWわかる人に聞いて作業してくださいませ。
- 3 円の大きさは、葉張りを直径と考えて作図する。番号は、現場調査書を参考にする。番号ですが、現場調査書では、同番号のものは、場所を書かずに個数を調べてきているので個数分コピーでレイアウトしてください。
- 4 上記大項目2で作成した入力表シートをJWエクセルで書きだして貼付けて完成形にする。

今週の作業シート

清水

1

O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1¥71住友不動産本館棟-設備裏図.jwwの9-PHR階をコピーして、42-1住友不動産本館棟共用電灯設備.jwwを作成する。

- 1 A 2 1/200で作図してください。作図要領は、1/100と1/200・及び専有は個数別に拾う・共有は階別に拾うの違いはありますが、専有部分と一緒にです。
- 2 O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1¥図面用Excel¥18住友不動産_棟1_図面数量表防災・共用電灯.xlsの共用電灯シートにひな型の数量計算書を作っておりますので数量を入力して使用してください。拾うのは、行っていませんので、清水さんが拾って表を完成してください。
- 3 注意事項として、換気扇がある部分で近くにコンセントのないものは、直結で電灯配線個所数を追加してくださいませ。
- 4 シーリングライト(天井付照明)の表記がたくさんありますが、ひな型の蛍光灯の表記の1種類にまとめてくだされば結構です。
- 5 マーキングのしてある部分は、色の違いがありますが、全て電灯設備での計上は不要です。青色・緑色作図部分も、全て電灯設備での計上は不要です。赤色マーキングエリア部分は、1/100の拡大図を基に表記してくださいませ。但し、書いてみて、1/200では小さすぎて書けない場合には、別紙エリア部分については、全て1/100の拡大図に作図する形式にしてくださいませ。
- 6 4-8階の共用部分は、4階に共通部分が表記されていて、それ以外の階は、変わっている部分のみ表記が各階です。4階を完璧にまとめてからコピーして変わっている部分のみ修正する方式で作成してください。エクセル表も同様の方法で作成して下さい。
- 7 9階のタイマースイッチやPH2階の温度センサーや2階別紙②の共用灯操作盤のように標準単価になりものもありますが、計上はしてください。計上は一番最後の行に単独で計上してください。

今週の作業シート

清水

1

O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1¥71住友不動産本館棟-設備裏図.jwwの9-PHR階をコピーして、33住友不動産本館棟避雷設備.jwwを作成する。

1 O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1¥サンプル¥10日本歯科大学-体育館設備-動力・避雷.jwwの記号をコピーして作図して下さいませ。

2 O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1¥図面用エクセル¥18住友不動産_棟1__図面数量表.xls ¥避雷設備シートに数量表があります。

2

O:¥三田三・四地区¥11-18住友不動産調査書¥18立竹木調査表.xlsxに現場調査書を参考にし
て入力を行う。

3

O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥工作物¥18住友不動産 - 立竹木位置.jwwを訂正する。

1 文字が見えなくなっている部分を引き出して文字区別ができるようにする。

4

O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1 ¥13住友不動産(本館)-内部雑専有.jwwの図面を岡山さんの作成した13住友不動産(本館)-内部雑専有(岡山) .jwwと合わせて、一つの図面にしてください。

1 O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1¥図面用エクセルフォルダーに3つの内部雑専有エクセルデータが存在します。どれが正解かわかりませんので、正解のファイル一つにまとめてください。

5

O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1 ¥13住友不動産(本館)-電灯専有.jwwを作成する。

1 O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1 ¥71住友不動産本館棟-設備裏図.jwwをコピーして作成する。

2 細部のやり方については、梶山さんに確認して進めてくださいませ。

今週の作業シート

清水

1

O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1¥71住友不動産本館棟-設備裏図.jwwの9-PHR階をコピーして、33住友不動産本館棟避雷設備.jwwを作成する。

- 1 O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1¥サンプル¥10日本歯科大学-体育館設備-動力・避雷.jwwの記号をコピーして作図して下さいませ。
- 2 O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1¥図面用エクセル¥18住友不動産_棟1__図面数量表.xls ¥避雷設備シートに数量表があります。

2

O:¥三田三・四地区¥11-18住友不動産調査書¥18立竹木調査表.xlsxに現場調査書を参考にし
て入力を行う。

- 1 サンプル表として、O:¥三田三・四地区¥01-10川面土地管理株式会社調査書 ¥10川面土地管理_立竹木調査表.xlsxを参考にして下さい。
- 2 18立竹木調査表.xlsxに1行目だけ入力しておきました。注意点として、現場調査書はm単位で調べてありますが、cm単位に変換して入力してください。
- 3 株記載のものは、株廻りも調べてありますが、入力は樹高・葉張の記載のみで良い。
- 4 単位に記載のないものは、分類を高木で入力する。
- 5 ツル性類はm2入力になりますので、面積計算して入力してください。
- 6 O:¥三田三・四地区¥書式_H29単価等¥H29単価¥04 ★平成29年度損失補償算定標準書 立竹木・立毛編（パスワード付）-加工.xdwの検索機能で樹種入れると掲載頁の記載があるので、エクセルの標準書ページに入力してください。
- 7 つつじは、「おおむらさきつつじ」としてください。
- 8 竹は、「たけ(観賞用)3本立」としてください。
- 9 掲載頁を参照にして、検索機能でページ検索して権利変換シートの水色列に樹価を入力してください。樹価は、株物の場合には樹高にて変わり、玉物は葉張で変わる。高木は、幹周10cm以上か未満かつ樹高で決まる

3

O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥工作物¥18住友不動産 - 工作物位置.jwwをコピーして18住友不動産 - 立竹木位置.jwwとして作図する。表を貼り付けるエリアも考慮しておいてください。工作物の凡例は不要です。表エリアを図面を上にして下にレイアウトしたらどうでしょうか？

- 1 JWWのマゼンダ点線作図範囲内の工作物資料は全て不用なので削除して、枠外の1/200全体図を枠内に持っていき1/300で枠を作り直し、1/300で枠に入れ直す。
- 2 グループを変えて、O:¥三田三・四地区¥02-10川面土地管理株式会社図面 ¥L01川面土地管理 - 立竹木位置170828増田.jwwを参考に作図する。
- 3 円の大きさは、葉張りを直径と考えて作図する。番号は、現場調査書を参考にする。番号ですが、現場調査書では、同番号のものは、場所を書かずに個数を調べてきているので個数分コピーでレイアウトしてください。
- 4 m2入力で根廻りと枝幅が記載してあるものは、縦横の寸法を図面記載してください。高さ
と根廻りと樹高に記載があるものは、幅を500mmに固定して幅を記載し幅500側にH○.○と記載して下さい。

5 上記大項目2で作成した入力表シートをJWエクセルで書きだして貼付けて完成形にする。表は、後日再調査して東側の立竹木が入るため、表は現在の2倍程度になります。

4 O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥工作物¥18住友不動産 - 工作物位置.jwwをコピーして18住友不動産 - 動産位置.jwwとして作図する。

今週の作業シート

清水

1

O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1¥13住友不動産本館棟-内部雑専有.jwwを作成する。

- 1 まず、03-2住友不動産(本館)・RC_住戸プラン.jwwをコピーして、71住友不動産本館棟-設備裏図.jwwのように、専有部分の裏図を72住友不動産本館棟-設備専有裏図.jwwとして作成保存する。
- 2 裏図の基本は、余分な寸法線や通り芯は削除して、文字は全てMS明朝に変更する。その後、色を極細線の水色にする。
- 3 造る図面のイメージは、09八重洲ビル-内部雑.jwwのようです。
- 4 サンプル図のように、平面図とは別のグループに、内部雑を太線色で書ききれ、それに下図の水色の番号を振って、最後に、エクセルファイルをJWエクセルで貼り付けるというのが一般的な流れとなります。サンプル図を同じグループでコピーするとレイヤを引っ張って来てやりやすいと思います。
- 5 上記の同グループでコピーがJWになれていない人は分かりづらいようです。分らなければJWわかる人々に聞いてくださいませ。
- 6 エクセルファイルは、O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟1¥図面用エクセル¥18住友不動産_棟1_図面数量表内部雑専有.xls ¥内部雑(専有)シートに入っています。
- 7 上記エクセルファイルでは、住戸数の掛け率が計算されていません。O:¥三田三・四地区¥12-18住友不動産図面¥棟2¥図面用エクセル¥18-2住友不動産_図面数量表.xls ¥内部雑シートを参照にして、住戸数列と合計列を加えて、合計が出るようにしてください。住戸数は、03-2住友不動産(本館)・RC_住戸プラン.jwwに記載があります。
- 8 上記を行い、個数が確定したら、作図した該当物の数量があっているかを確認して、あっていたらJWエクセルで貼り付けて、内部雑を1個ごと完成する。
- 9 エクセルファイルを貼る前に、表はMSゴシックで文字をしたいので、MSゴシックに文字をエクセル表上で変えておいてから持っていくとよい。JWエクセルでは、文字が重なったり完ぺきな作業はできません。必ず修正が必要になることを理解しておいてください。また、この表文字の大きさが2.5が理想です。最低でも2.1以上にはしたいです。
- 10 JWエクセルもJWなれていない人には、ハードルがあります。JWできる人に確認してくださいませ。

今週の作業シート

清水

1

O:¥学校橋52補償¥学校橋58補償¥62森正博¥調査書¥062森正博H29_01附帯工作物調査表.xls
の入力を行い、H27年度単価を再積算する。

- 1 062森正博H29_01附帯工作物調査表.xls ¥ 附帯工作物調査表シートに66基礎.csvからコピペして明細の区分のタイトル部分を入力する。
- 2 062森正博H29_01附帯工作物調査表.xls ¥ 単価明細シートに66工作明細.csvからコピペして基礎データをを入力する。
- 3 062森正博H29_01附帯工作物調査表.xls ¥ 単価明細シートに旧調査書の合成単価を見ながら各明細のコード数量を入力する。
- 4 062森正博H29_01附帯工作物調査表.xls ¥ 附帯工作物調査表シートのコード列に旧調査書を参考にして、合成単価の場合には該当の(明細○)を入力して、そうでないものは、コード番号を入力する。旧調査書の15番以降は入力する必要なし。
- 5 062森正博H29_01附帯工作物調査表.xls ¥ 附帯工作物調査表シートの設置年月日列に旧調査書の工作物リストを見て設置年月日を入力する。
- 6 062森正博H29_01附帯工作物調査表.xls ¥ 附帯工作物補償算定書シートのNO.列に旧工作物リストの番号を入力する。旧附帯工作物補償算定書を参考にして、各行の2段目に撤去単価があるものは、撤去単価のコードをコード列に入力する。(合成の場合には、(明細○)を入力)
- 7 062森正博H29_01附帯工作物調査表.xls ¥ 附帯工作物補償算定書シートの移転工法列にプルダウンメニューから工法を旧附帯工作物補償算定書を参考にして入力する。
- 8 062森正博H29_01附帯工作物調査表.xls ¥ 附帯工作物補償算定書シートの耐用年数列にプルダウンメニューから旧附帯工作物補償算定書と同じ耐用年数を入力する。
- 9 062森正博H29_01附帯工作物調査表.xls ¥ 廃材量入力シートを入力する。入力方法は北河に確認する。

2

O:¥学校橋52補償¥学校橋58補償¥62森正博¥調査書¥062森正博H29_立竹木調査表.xlsの入力を行い、H27年度単価を再積算する。

- 1 ¥062森正博H29_立竹木調査表.xls ¥ 基本入力シートに062森正博H29_01附帯工作物調査表.xls ¥ 附帯工作物補償算定書シートから基礎データをを入力する。
- 2 データ入力シートに旧立竹木調査書を参照にして、品種コード列に、コード番号を入力する。準用の場合には、印刷品目列に直接樹種名を打ち込む。
- 3 幹周・樹高・葉張・本数の入力に旧立竹木調査書を参照にして行う。

今週の作業シート

清水

- 1 O:¥学校橋52補償¥学校橋58補償¥66佐藤節子¥Drawing¥066配置図.dwgの作図を行う。
 - 1 まずは、現在ある裏図を基にして、工作物線の書入れを行う。
 - 2 最終的に対象となるのは、水色で囲まれた領域よ水色記号のある部分となります。それ以外は、対象外の細線となります。まず、線書入れ後、北河にチェックしてもらい、その後、対象外と対象に分ける。影響線は、隣地境界もしくは建物壁線から0.5m領域とする。
 - 3 碎石はサンドハッチ・土間コンは3本ハッチ・タイルはクロスハッチ・ブロックはC Bハッチをかけてください。
 - 4 設備記号は、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥003小林 ミト¥Drawing¥003A小林ミトW.dwgの給水排水設備図関係から持って来て下さい。
 - 5 一通りチェックを受けて作図も終了したら、領域で決まるものは、プロパティで面積を小数点第2位（3位四捨五入）で図面に書き入れてください。
 - 6 上記数量が出たら、O:¥学校橋52補償¥学校橋58補償¥66佐藤節子¥調査書 ¥66佐藤乃里夫H29_01附帯工作物調査表.xls ¥附帯工作物調査表シートの該当部に入力を行う。
 - 7 その後、附帯工作物調査表シートを、AUTOCADにいつものように貼り付けるが、A4では全て入りませんので、1枚調査表のみのものをペーパー空間で貼り付けると作成しやすいと思います。
 - 8 工作物の図面を横にコピーして、工作物用の文字は削除して、線種を境界線以外極細線に変更する。
 - 9 上記図面を5枚コピーし、それぞれに、工作物復旧位置図・動産位置図・立竹木位置図・全景写真・工作物写真をそれぞれ作成する。
 - 10 写真は、別下図を参考としてください。
 - 11
 - 12

今週の作業シート

清水

1

O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算¥14-2松永にて14-2松永借家人用資料の作成を行う。

1

前回の14-3の時と同様の資料を作成しますが、作成するものが所有の違いで変わります。

2

位置図は、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算 ¥Drawingの14-3福井データをコピーして14-2として作成してください。住所氏名は、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算¥014_2松永_02_H29_附帯工作物調査表.xlsよりコピーする。

3

借間区分図を、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算 ¥Drawing ¥014 配置図.dwg ¥借間区分14-3をコピーして14-2として作成する。

4

O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算 ¥Drawing ¥014BCD山森明W.dwgのA棟部分を使用して、添付下図の建具位置図、D棟部分を使用して、写真方向図・電気設備図・動産位置 & 居住区分図を作成する。A棟の一部写真はA棟の図面を使用して作成してください。

5

建具位置図に貼り付ける建具表は、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明 ¥H29年度再積算¥14-2松永 ¥014_2松永_03_H29_木造数量書.xlsxの建具表シートから貼り付ける

6

設備図は、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算 ¥図面用 Excel ¥01図面数量表v2.xlsの電気シート部分に、各設備に分けて項目をコード番号(014_2松永_02_H29_附帯工作物調査表.xls参照)で引っ張って入力してから貼り付けてください。一遍で貼れるように入力シートを作成しておくとうりやすいです。

7

蔵衛門で写真を整理する。14-3の蔵衛門データを参考にして明らかに設備をとっているものは、設備名をコメントに入れる。隣家の玄関のコメントは、「一般動産」としてください。

8

動産居住区分図作成時には、ソリッドハッチ色を居住部254色動産部252色でソリッドしてください。

9

O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算 ¥014_3福井_01_居住者調査表.xlsの借家人シート部分に該当項目を居住者等調査表と014_3福井_H29_01附帯工作物調査表.xlsよりコピーして作成する。

10

11

12

今週の作業シート

清水

1

O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算にて14-3福井借家人用資料の作成を行う。

- 1 別紙キングファイルの14-1データのような資料を作成をします。
- 2 位置図は、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥Drawing ¥ H24位置図.dwgの14山森データをコピーして14-3として作成してください。住所氏名は、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算 ¥ 014_3福井_H29_01附帯工作物調査表.xlsよりコピーする。
- 3 借間区分図を、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算¥Drawing ¥ 014 配置図.dwg ¥借間区分14-1をコピーして14-3として作成する。
- 4 O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算¥Drawing ¥ 014BCD山森明W.dwgのB棟部分を使用して、添付下図の平面図・建具位置図・各種設備図を作成する。
- 5 建具位置図に貼り付ける建具表は、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明 ¥H29年度再積算 ¥ 014_3福井_H29_木造数量書.xlsの建具入力シートに赤字該当建具のみ入力してから建具集計をかけてから建具表シートを貼り付ける。最初から建具入力シートに入っているデータは、サンプルです。関係ない部分は削除して入力してください。
- 6 各種設備図は、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算¥図面用Excel ¥ 01図面数量表v2.xlsの電気シート部分に、各設備に分けて項目をコード番号でひばっ手入力してから貼り付けてください。一遍で貼れるように入力シートを作成しておくのと貼りやすいです。
- 7 内壁仕上・床仕上げの数量の拾いを下図の色塗り部分のみ、014_3福井_H29_木造数量書.xlsの内壁・床入力シートに入力する。入力したら集計も出してくださいませ。
- 8 O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算¥Drawing ¥ 014 配置図.dwgの立竹木シートを修正してA・Bのみとして、所有者の変更を行う。
- 9 O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算 ¥ 014_3福井_01_居住者調査表.xlsの借家人シート部分に該当項目を居住者等調査表と014_3福井_H29_01附帯工作物調査表.xlsよりコピーして作成する。
- 10 別紙の賃貸事例のネットデータを参考にして、インターネットで、清洲市内近郊の家賃データを7パターン検索してDOCUにバインダーで書き出す。データをプリントアウトして、私のチェックを受ける。
- 11 チェック受けたら、O:¥学校橋52補償¥学校橋53補償¥調査書¥014山森 明¥H29年度再積算 ¥ 014_03_標準家賃.xlsに関係資料を入力する。
- 12 写真方向図の作図を別図下図を参照にして、014BCD山森明W.dwgのB棟部分を使用して、作成する。

今週の作業シート

清水

1

O:¥三田三・四地区¥01-10川面土地管理株式会社調査書¥10川面土地管理_立竹木調査表.xlsxの作成を行う。

- 1 立竹木調査書の樹種名をO:¥三田三・四地区¥書式_H29単価等¥H29単価¥04 ★平成29年度損失補償算定標準書 立竹木・立毛編（パスワード付）-加工.xdwを検索して、添付のような該当樹価が出ている部分を検索する。
- 2 10川面土地管理_立竹木調査表.xlsxの入力表に該当数値を入れる。この際、現場調査書で☆がついているものは、株です。分類列で株物を選択する。ツル性類はツル性類を選択する。ラン及びシュロは、特殊樹それ以外は、高木を選択する
- 3 サンプルの入力を参考にしながら該当樹種の入力を行う。株・高木で入力箇所が違うので注意する。現場調査書で、1列目は根回り・2列目高さ・3列目葉張りとなっています。また、入力値が根回り以外m単位となっているので注意する。標準書ページは、検索したページ数から転記する
- 4 現場調査書でゆっかとかいてあるのは、ゆっからん。ランと書てあるのはリュウゼツランを示す。
- 5 権利変換シートの樹価列に直接樹価を入力する。
- 6 一通り入力したら、北河のチェックを受ける。
- 7 チェック後、OKでたら、O:¥三田三・四地区¥02-10川面土地管理株式会社図面¥T01川面土地管理 - 立竹木位置170828増田.jwwにJWエクセルで、入力表シートを書き出して別紙のように貼り付ける。貼り付けた際に文字が小さくなりすぎないように最低でも2.1の文字の大きさと、できれば2.5の大きさと表を作成する。

今週の作業シート

清水

1

O:¥三田三・四地区¥10川面土地管理株式会社図面 ¥01川面土地管理・仕上表.xlsの作成を行う。

- 1 未調査だった1階の便所や2階の201号室も仕上げ入れておきましたので、こちらに合わせて部屋の追加をお願いいたします。2階につきましては、部屋が追加されたため、部屋番が202以降ずれます。このような時には、現場調査書の部屋番号の社内側の列に、新しい番号を赤字で記入して下さいませ。合わせて、現場調査書の平面図の部屋番号も、水色で記載しなおして下さいませ。（水色フリクションは、私の机にあります）なお、201号室は開かずの間で未調査です。調査のできた301号室と同じということにして進めることにしました。
- 2 仕上の建築設備は、番号1002と入力すれば引っ張ってきます。単純なVLOOK関数です。単価シートに番号と仕上げを追加で入力すれば、これからないときにもできます。追加するときは行ごとの追記（行の追加）でお願いします。行列が崩れるとVLOOKがうまくいかなくなります。追行した時には、当社のO:¥H28_標準単価表itc.xlsにも同番号を追行して下さい。
- 3 仕上の天井に梁とか梁型と記載のあるものは、設計図で珪外塗下地としているのがわかったので、コードを2450110→2450720に全て変更して下さい。また、壁の補修下地も珪外塗っているので、2450110→2450310に全て変換して下さい。ここまでのところは、私が修正しておきました。
- 4 仕上入力していて、コンクリート補修下地の下地が軽鉄下地なんてのは絶対おかしいです。意味わかんなければ、関本さんに聞いてください。こういったものが出てきた時は、関本さんと相談して下さいませ。分るところはこちらで修正しておきました。（私も完璧でないです。入力チェックしていて初めて間違いに気づくのが現状です）
- 5 梁型のWHの寸法は、記入の必要はありません。これは今後、平面図に表記するものです。
- 6 今後造作工事とか仕上げで出てきますが、コードは1000です。押入れの場合のみ床天井1000壁は1030となります。
- 7 各号番の分かれ目及び階の分かれ目には2行の空き行を設けて下さいませ。ここまでは、私のほうで行っておきましたがページの修正まではしていません
- 8 準用したものは、左番号でVLOOKで引っ張った後、諸項目を修正後、右項目を赤字にして左番号部分に〇〇〇準用と記載して下さいませ。
- 9 現場調査書は、10川面現場調査書の棚に全て入っています。インデックスで仕上表と書いたのが該当のものです。ほかの人が見たいとき等のために、O:¥三田三・四地区¥現場調査書¥10 ¥10現場調査書.xbdにフォルダー分けして入れれあります。
- 10 3階より上は、ほぼ2階と同じ仕上げですので、番号をコピペで仕上げてください。この際に、計算式変えている部分は、コピペではうまくいかないの注意して作業して下さいませ。
- 11 あまりに行挿入等でページがぐちゃぐちゃになった時でも、階が変わるまではそのまま作業して、階が変わるときに調整を行うのが良いかと思えます。変なところで階が切れる場合には、空き行を増やしても良いかと思えますが、1行で階を変えるのは増えた時を考えてあまり好ましくありません。次ページを空き行から始めるようにして下さいませ。

今週の作業シート

清水

- 1 O:¥あま市¥木田29年度の各フォルダーの製本資料フォルダー内の金入・金抜調書を打ち出して製本を行う
- 2 金抜き調書が作ってないのは、後26大橋だけです。清水さんが作成してなかったら作成して製本資料フォルダー内に金抜きとして作成して保存して打ち出してくださいませ。
- 1 製本のファイルを私の席の正面の1番上の棚に2センチと5センチファイルの2冊で参考でそれぞれの先頭分のみ入れておいたので参考にして残りも作成してください。間違えて5-1の金入も印刷してあります。
- 3 印刷をしたら必ず不備がないか確認を確認をしてください。たまにカラー印刷掛けずに白黒印刷したりするから注意してください。
- 1 5センチファイル側は、金入りの最後に写真フォルダーをCDにコピーしてテプラでインデックスを作って貼ってCDケースに入れて差し込んでください。CDケースの上蓋もしないとCDが飛び出しますので宜しく。CDは関本さんの席の足元にあります。
- 2 金入りと金抜きの間には、青のカラーコピー紙を入れてカラーコピー紙の一番上に金抜のインデックスを貼ってください。
- 3 カラーインデックス部分には、所有者名の書いた資料を作成しておきましたので、切り張りしてください。失敗したら、O:¥あま市¥木田29年度¥製本資料¥H29インデックス.xlsxをプリントして使用してください。
- 4 5センチファイル側は、各中表紙部分に青インデックスを貼る作業が必要になりますので金入金抜きともインデックス張りしてください。その際は、カラーインデックスとか金抜インデックスのレイアウトは無視して一番上から貼ってくださいませ。2センチ側はカラーインデックスのシール張り以外はいりませんのでお間違いなく。

今週の作業シート

清水

- 1 O:¥三田三・四地区¥10川面土地管理株式会社図面¥03川面土地管理100 平面図1F.jwwの訂正を行う。包絡処理を鈴木さんに教えてもらってください。あと、JWはAUTOと違ってパラメに寸法ついてきません。(寸法図形化すればついてくるようになりますが、作業性が悪くなる)
- 2 O:¥あま市¥29年度予定¥05杉本典子¥5-1配置図.dwgに下図を基に工作物位置図と写真方向図を作成する。
 - 1 O:¥あま市¥現場資料¥H29補償調査図.dwgに敷地境界・現況図・街区線が入った資料がありますので、それをコピペして土台を作図してください。
- 3 O:¥あま市¥22宇佐美政義¥H29調査書の金入・金抜DOCUの作成を行う。
 - 1 上記ファイルは、H28年度に作成したもので、これをH29年度版に差し替えて22宇佐美政義金入H29.xbd/22宇佐美政義金抜H29.xbdに作成しなおす作業です。
 - 2 具体的には、H29_22宇佐美政義総括通損.xls/H29_22宇佐美政義附带工作物調査表.xls/011H29単価.xdw/H29_22宇佐美政義立竹木調査表高さ優先.xlsの該当ページを打ち出して、差し替える。
 - 3 上記該当ページとは、エクセルのシートで青色シートのしている部分をいいます。赤色シートは、金抜き印刷の時に金抜き切り替えをするときに必要になるシートです。
 - 4 打ち出すときには、エクセルをリンクで貼っているため、総括通損.XLSファイルを印刷する際には、工作物・立竹木のシートを開いておかないと上手くリンク効かない時があります。DOCUはそのまま打ち出せば大丈夫です。
 - 5 一通り該当ページを打ち出したら、011古居金入.xbdを011古居金入H29.xbdに名前を変更して、22宇佐美政義金入H29.xbdを参考にして、22宇佐美政義金入H29.xbdの差し替えないといけないページ（図面とか写真は金額に変更がないため、そのまま使用できるので差替え不要）の差替えを行う。私は、バインダー検索の文章名の該当部の次に差し替えるページを入れておいて、差し替えてから0ページになった索引ページを削除する方法で行っています。これがやりやすく間違いも少ないかと思います。
 - 6 一通り差替えが終わったら、22宇佐美政義金入H29.xbdと比べて、入れ替えたものの並びや欠落・過大の確認を行う。
 - 7 次に金抜きエクセルの印刷を行うが、金抜きは、総括通損.xlsなら補償総括シートのF1セルで金抜きを選択すれば金抜きになります。附带工作物調査表.xlsは、附带工作物補償算定書シートの単価列の金額を削除する。&単価明細書シートのA2セルを金抜きにする。&廃材量計算シートの単価列の金額を削除する。&産業廃棄物税(単棟)シートのF20セルを削除することで金抜きとなります。ここで気を付けてほしいのは、**金抜きファイルは保存しませんので、削除したデータで保存をかけないでください**。立竹木は、基本入力のE2セルを金抜きにすれば金抜きとなります。単価DOCUは金抜きでは差込不要となりますので印刷不要です。
 - 8 上記で金抜きにした該当エクセルページを打ち出して、22宇佐美政義金抜H29.xbdを参考にして、011古居金抜H29.xbdの差し替えないといけないページ（図面とか写真は金額に変更がないため、そのまま使用できるので差替え不要、また、金抜きの場合には、カタログページとかの金額に入っているものは差込不要）の差替えを行う。

- 9 一通り差替えが終わったら、O:¥西尾羽津西成果品（事業計画）¥調査書¥011古井¥調査書H28¥011
古居金抜.xbdと比べて、入れ替えたものの並びや欠落・過大の確認を行う。
- 4 O:¥あま市¥29年度予定¥26大橋重雄¥26大橋重雄金入.xbdをコピーして、26大橋重雄金抜.xbdに名前
を変更して、上記と同様の作業を行って、金抜き調査書を作成する
- 5 O:¥あま市¥29年度予定¥27山内光明¥27山内光明金入.xbd & 27-1杉藤鉢郎外3名金入.xbdをコピーし
て、〇〇金抜.xbdに名前を変更して、上記と同様の作業を行って、金抜き調査書を作成する

今週の作業シート

清水

- 1 O:¥西尾羽津西成果品（事業計画）¥調査書¥011古井¥調査書H29¥011古居金入.xbd/011古居金抜.xbdを作成する。
 - 1 上記ファイルは、H28年度に作成したものであるため、これをH29年度版に差し替えて011古居金入H29.xbd/011古居金抜H29.xbdに作成しなおす作業です。
 - 2 具体的には、011古井_H29_総括通損.xls/011古井_h29_附帯工作物調査表.xls/011H29単価.xdw/011古井_h29_立竹木調査表.xlsの該当ページを打ち出して、差し替える。
 - 3 上記該当ページとは、エクセルのシートで青色シートのしている部分をいいます。赤色シートは、金抜き印刷の時に金抜き切り替えをするときに必要になるシートです。
 - 4 打ち出すときには、エクセルをリンクで貼っているため、総括通損.XLSファイルを印刷する際には、工作物・立竹木のシートを開いておかないと上手くリンク効かない時があります。DOCUはそのまま打ち出せば大丈夫です。
 - 5 一通り該当ページを打ち出したら、011古居金入.xbdを011古居金入H29.xbdに名前を変更して、O:¥西尾羽津西成果品（事業計画）¥調査書¥011古井¥調査書H28¥011古居金入.xbdを参考にして、011古居金入H29.xbdの差し替えないといけないページ（図面とか写真は金額に変更がないため、そのまま使用できるので差替え不要）の差替えを行う。私は、インダー検索の文章名の該当部の次に差し替えるページを入れておいて、差し替えてから0ページになった索引ページを削除する方法で行っています。これがやりやすく間違いも少ないかと思います。
 - 6 一通り差替えが終わったら、O:¥西尾羽津西成果品（事業計画）¥調査書¥011古井¥調査書H28¥011古居金入.xbdと比べて、入れ替えたものの並びや欠落・過大の確認を行う。
 - 7 次に金抜きエクセルの印刷を行うが、金抜きは、011古井_h28_総括通損.xlsなら補償総括シート of F1セルで金抜きを選択すれば金抜きになります。011古井_h28_附帯工作物調査表.xlsは、附帯工作物補償算定書シートの単価列の金額を削除する。&単価明細書シートのA2セルを金抜きにする。&廃材量計算シートの単価列の金額を削除する。&産業廃棄物税(単棟)シートのF20セルを削除することで金抜きとなります。ここで気を付けてほしいのは、**金抜きファイルは保存しませんので、削除したデータで保存をかけないでください。**立竹木は、基本入力 of E2セルを金抜きにすれば金抜きとなります。単価DOCUは金抜きでは差込不要となりますので印刷不要です。
 - 8 上記で金抜きにした該当エクセルページを打ち出して、011古居金抜.xbdを011古居金抜H29.xbdに名前を変更して、O:¥西尾羽津西成果品（事業計画）¥調査書¥011古井¥調査書H28¥011古居金抜.xbdを参考にして、011古居金抜H29.xbdの差し替えないといけないページ（図面とか写真は金額に変更がないため、そのまま使用できるので差替え不要、また、金抜きの場合には、カタログページとかの金額に入っているものは差込不要）の差替えを行う。
 - 9 一通り差替えが終わったら、O:¥西尾羽津西成果品（事業計画）¥調査書¥011古井¥調査書H28¥011古居金抜.xbdと比べて、入れ替えたものの並びや欠落・過大の確認を行う。
- 2 O:¥あま市¥22宇佐美政義¥H29調査書の単価のチェックを行う。
 - 1 22工作単価.xdwのH29年度の該当ページをスキャナー読み込みして該当部に黒口をする。
 - 2 上記を基に、H29_22宇佐美政義附帯工作物調査表.xlsの単価明細シートの該当ページの金額の入替を行う。
 - 3 H29から始まるエクセルファイルの青色シート部分を印刷を行う

- 4 工作物については、算定書のページ数の記載があるので該当ページを見て、今年度の金額に間違いがないか確認する。基本的に、チェックは、後ろから金額を引っ張ってくるので、廃材量入力から前にチェックを行っていくのが良い。また、基本コードで入れたもので、準用按分がしてないものについては、種類名称/構造・形状・寸法が算定書と同じか確認を行う。その他# N Aとかのエラーが出ていなか確認を行う。
- 5 再築補償率が、算定書P 455の率と同じか確認を行う。
- 6 立竹木は、ページ数に記載がないが、喬木・株・生垣と高さ・根回りと立竹木名称で金額を算定書から引っ張てこれるので確認を行う。
- 7 上記が終わったら、修正した資料を打ち出して、チェックを受ける
- 8 チェックが終わったら上記1で行った金入・金抜印刷を行って、H29用の金入・金抜DOCUの作成を上記同様に行う。

今週の作業シート

清水

- 1 O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥E2.動力の各階図面の作図を下図を基に行う。
- 1 平面図の、トイレ北面のPSの寸法を変更したため、これに合わせて、それに絡む室面積求積図の寸法と計算書の修正をする。地階とPH階は複雑なので後に回して、時間があたら地階の分かるところまでは入力してください。
- 2 下図は、各ルートごとに色分けして作図してありますが、成果は全て青入り作図で構いません。但し、B1FとPH階は線が交差して複雑でわかりづらいので、下図にあるような色別で作図してください。レイヤも動力配線緑とかレイヤを作成して作図する。ついでに文字も各ルートごと配線と同じ色の文字にしてください。
- 3 エクセル数量計算書は、河合塾 図面数量表(動力).xls ¥各種数量表に作成してあります。但し、PH階の数量計算は入力中途です。
- 4 エクセル表貼るときには、変なところで文字や数量計算が返らないように、調整してから貼ってくださいませ。
- 5 作図は、対象部分だけを動力・幹線レイヤで太線青色（B1階とPH階はさらに色レイヤが加わります）で作図して、文字は動力文字（B1階とPH階はさらに色レイヤが加わります）で作図する。
- 6 図面内タイトルを「○階幹線・動力設備図」に修正する。
- 7 地階の図面の□内で×の打ってある文字は、削除してください。

今週の作業シート

清水

- 1 O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥A0.求積図¥2階から10階の室求積図を修正する。
 - 1 平面図の、トイレ北面のPSの寸法を変更したため、これに合わせて、それに絡む室面積求積図の寸法と計算書の修正をする。
 - 2 2階の10-1.11-1.16-1室を追加しましたので、室面積表の修正をしてください。
図面は、上記フォルダー内のものを、面積表は、O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥図面用エクセル¥01求積数量表v2山本.xls & 01求積数量表v2保崎170620武藤.xlsの数量計算書を修正して、面積合計が、各階求積図の床面積と誤差が±0.05㎡以下であることを必ず確認してからJWに貼り付けてくださいませ。
 - 4 全ての階の修正が終わったら、O:¥オオバ¥河合塾¥調査書 ¥05_110A河合塾_足場計算書.xlsの関係する部分の室の面積の変更をしてください。
 - 5 2階の12.13の室の天井高を変更したので、上記ファイルの該当部の天井高の変更をしてください。
 - 6 3階のトイレに一般65ミリ厚壁を追加してください。
- 2 O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥1.平面図に屋根の寸法と屋根記号、屋根数量表をはめる。
 - 1 関本さんと打ち合わせして作業してください。
- 3 O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥S1.躯体¥208-SRC柱.DWGに河合塾の枠をはめて、補償図面として使用できるようにしてください。

今週の作業シート

清水

- 1 河合塾の平面図の寸法を4階から上を入力する。
 - 1 避難バルコニー及び避難バルコニー前の奥行は、2000.650とする
 - 2 中央部の柱出寸(壁芯から柱外面)と○柱の直径と円周長の記載がありません。追記してください。(出隅部分の柱は、壁拾い時に行って来いになるので追記の必要はない)
 - 3 展開記号が裏返って見えない部分があるので表記してください。この際、展開記号が他のレイヤとダブる場合には、展開記号のレイヤを単独死してください。
 - 4 31デッドスペースの壁はRになっていますが、室求積図のようにまっすぐな長さで拾いますので、斜め寸を入れてくださいます。(壁は現状がRになっていますのでそのまま良い)
- 2 O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥1.平面図の4階から9階の平面図に踊り場部分の階段を追記する。
 - 1 104_4階・5階平面図.dwgに踊り場平面図を追加するようにしましたので、合わせて、5~9階も表記をお願いいたします。
やり方は、踊り場書くために横に平面ずらして、上階の階段部分をコピーして作図します。なお、階段破断線やUP・DNの表記がなかったりで分かりずらかったので、破断線位置を踊り場と平面図で合わせてUPDN記入してわかりやすくしました。合わせて、視覚表示のない部分があったので追記しました。
 - 2 河合塾の基準階の展開図の修正作図をする。
 - 3 O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥4.展開図¥414-418_展開図.dwgの展開図(7)の番号の修正作図を行う。
基本的に、作図されている展開図は竣工図で、壁数量を拾うための図面でなく、造作や床天井を含めた対象物を示す展開図となっています。これを壁数量を拾うためのいつものような、壁芯で作図する、壁仕上げを拾う立面図に加工します。
私がひな型で作成した展開図が、O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥4.展開図¥1階共用展開図.dwgが
 - 1 あります。当初の展開図が、410_平面詳細図(1).dwgです。比べてみてまずどのような変更をしたか確認をしてください。
まず、余分な引出線や仕上げ記号を削除します。O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥1.平面図¥○階
 - 2 平面図から、該当の建具番号をコピーして貼り付けます。
寸法線を書き入れるエリアが狭いので2段分寸法線が書き入れられるようにエリアを広げます。寸法線の高さや仕様は、1階共用展開図.dwgを参考としてください。1階共用展開
 - 3 図.dwgをコピーで作業するのモデルにコピーしてあげれば、仕様を持っていきます。エクセル表のエリアも持っていけば、エクセルのレイヤも持っていきます。
4面を壁芯で重ねて書くために、まず各面に寸法線を入れます。その後、O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥求積図¥○階求積図を立ち上げて、各室の壁芯寸法を求積図に合わせた寸法で、パ
 - 4 ラメトリックして、壁厚分を調整します。この際に、求積図で乗っていない寸法は、求積図から壁芯寸法を測定して寸法を入れてください。各面の仕上げが入力できたら、全体寸法を入れてください。
 - 5 いつも展開図に備品関係は書きませんが、今回は間違いでなければ、そのまま記入したままで良いです。但し、引き出し文字はなくしましょう。展開図で造作は拾いませんので。

- 仕上げが部屋で2種以上ある場合は、少ないほうの範囲に基本ソリッドハッチをかけて、区別をつけましょう。2つの仕上げソリッド色は、レイヤで作っておきましたが、それ以上増えたら、自分でグレーゾーン色でレイヤ作ってください。タイルとか格子とかを使ったほうが良いエリアはソリッドにこだわらず、クロスハッチ等使用して作図してください。(見た目が現実の仕上げと同様に見える模様としてください)
- 6
- 7 建具の断面とかが壁部分で出てくる場合には、削除していただいて構いません。(一番隅の仕上げで邪魔にならないければ、そのままでも構いません。)
- 8 いつもは、展開方向Aが上となりますが、今回は、平面図を90度回転した関係で左手方向がAスタートになっています。注意してください。
- 9 突き出している壁や、柱型で加算壁として拾う必要がある部分は、壁芯から先端までの長さを求積図から測定して加算壁として別作図して下さい。
- 10 同様に、丸柱とかR壁部分とかは、Rなり長さをプロパティで確認して直線に展開した長さで作図してください。
- 11 外壁廻りは、2重壁となっていますが、外壁芯を室壁芯として作図してくれば良いです。

仕上げは、O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥図面用エクセル¥01図面数量表仕上.xlsに私が使用した内部仕上凡例を入れておきました。これをコピーして、基準階用の自分担当分の仕上げ凡例表を、O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥110河合塾S・01仕上表.xlsxのコード番等を参考にして作成して貼り付けて紐付けしてくださいませ。わたくしの作成した番号の続き番にする必要はありません。基準階なら基準階で番号が完結するように番号決めてくださいませ。

- 13 O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥4.展開図¥○階展開図-誰それ.dwgとして自分の書いたものを保存してくださいませ。
- 14 O:¥オオバ¥河合塾¥図面¥河合塾.ctbを所定のAUTOCADのフォルダーに入れないと印刷時にうまくできませんので、コピーしてください。